

# おでんウマン

1981.9

NO.38

事務局 津田尚美

編集 岸本桂子

養殖婦人になるまい

— 県婦人問題研修会 —

お田玲子

研修会での、甘子津田氏の意見発表は良かった。強烈な個性はよいが「女性」としての自分を定めて、また人間としての男女をみわたした場合の不平等に目を向け、年々環境をこえて広く運搬してゆくとする。B・W会から二人の発表者を出したことは大変うれしい。

甘子氏は、女性も社会参加を真剣に考える時だとし、そのための環境づくりが大切だという意見には、

この環境こそが、私たちの足をひっぱっている元凶なのだし、やはり言いづけていかねばいけない事だと思ふ。津田氏とは時々意見交換をしている間柄なので私の意見も、おしえてきたら、彼女の意見は、女性そのものを鍛えるのにとても大切な事なのだ。女性には社会参加をさせるには、自覚が一つ、とはよく言はれることだけれど、元来の資質は男女同じなのに、中流生になった頃から、寄つてたかつて中流前にされてゆくことをし、より自覚しておかなければならぬ。その意味で、女の子を「男の子」と同じ視点で育てていくという提案はおもしろかった。

ここでは女の子を「お転婆」としか「活発」としかいうことではもちろんない。男の子に対して無意識に期待される「責任感」「強さ（精神的・肉体的）」「二人でやること」など、これらも大事なことだ。女性にも個性としての、したたかな精神力

をまたせる事である。我々は学歴時代を、  
能力に依りて、ちんちやそれた。それゆゑの時  
点で、男にさへてがたくれをとると、いわれる人間  
に變身したのみ。

半人前の女にもたれかかれては、男創もろぞ重  
たのろろを思ひつ。我々は養殖女性にならまい。  
自分の自身の判断と感性をもつて生を生きと泳ぐ  
ことのできる女性でありたいものだ。

## いに残る言葉

新会員紹介 Ⅲ

吉村照代

私にはいつでも心に留めてある三人の人の言葉が  
あります。一は七三母の言葉であり、二はれが自分  
の家を訪ねて来たらたええその人がどんなにやな人  
だと思つてもいい笑顔で迎える。これがやさしい

よるでなかはな実行するのはむずかしいです。

二は父の言葉であり、三は私が物心ついた頃から  
ずと言われ続けた。「女はまず自立、一人生きて  
いけるように一生懸命勉強して何か技術と身に付  
けよう。」子供の時言われていた頃は、右の目から左の耳  
へという感じでした。今結婚して子供らになつてこの  
父の言葉が理解でき、そしてそのまんな環境を子  
供の為に作つてくれた父に感謝しています。

最後に私の主人が教えてくれた貴重な言葉、  
「人と動物は何が違ふと思ふ。それは人間は、動  
物と違つて社会生活を持てる」という事。

結婚して子供を生んで育てるのはどんな動物  
物だぞ出来る。人間と生まれたからには、何  
かひとつ社会の為に役に立つ事をすべきだ。」  
私はこれに頭をガンとぶぐられたまうてした  
そうだが何かをしなければ、そんなに大げさな事じ

やわくていい。私にも何か役に立つ事が出来るはずだ。

「B・W会」の皆さん、女と男とは本当の意味で平等ではありませんか。これを打ち破る為に共に頑張ります。

## 婦人差別撤廃条約の発効

岸下桂子

「女性に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」が9月3日、いよいよ国際条約として発効の運びとなりました。日本では昨年のコペンハーゲン会議で署名しましたが、条約の内容と抵触する国内法のために批准に至っておりません。その批准の障害

となるものは、

(1) 父系優先血統主義に基づく国籍法。

これは法務省も積極的に取り組んでおり、1993年の通常国会に改正案が提出される見通しで、解決に向かっています。

(2) 教育の分野に於ける高校の女子が必修の「家庭科一般」

文部省では、家庭科の女子が必修の条約に反しないよう解釈をとり、性別役割分業のもとに男女の能力に差があるとする社会通念の打破という観点からは全く取柄とします。

(3) 雇用の分野に於ける婦人に対する差別。日本では雇用の分野で性差別がけつり禁止されているのは、同一労働に於ける賃金差別だけです。従って雇用機会、職業

選抜・昇進・訓練その他あらゆる条件での男女同様の権利を保障する新しい男女雇用平等法の制定が必要とされています。条約の早期批准と実現させるには、私たち自らが、政府の姿勢を前向きに動かす。又社会通念を変えていくために、具体的な行動を考えてゆきたいと思っております。

### 事務局だより

文化講演会の準備の時期です  
オーストラリア房校さんのお力の青春上映  
オーストラリア 森崎教江さんに再びアタック、  
他にご希望は？

### 婦人問題デモ講座

NBC放送 AM 9:30  
5:10:00  
ナリ

・第一回 10月5日 明日のおんたのため

八月二十五日の果婦人問題研究会の模様を  
放映

・第二回 11月2日 おんたの周辺

或る農村の主婦の定態を考える。  
体の事、家事の事、老後の事、育児教育の  
問題など...

・第三回 11月7日 おんたの周辺

漁村の主婦の悩みを考える。

11月ミニ講座のお知らせ

中村昭美（弁護士）さんを囲んで  
市民会館にて  
11月16日（月）P.M. 6:30より

「B.W.会」の現野美晴さんが夫の転勤で共に崎  
へ、新しい住所は次の通りです  
(F)

ひとことコーナー 月に一度の会なれば、おんた  
も明日にのびして出席しよう。

(結城)